

林業B

〔例題1〕 世界的な森林減少への取組に関するア～エの記述の正誤の組合せとして妥当なのはどれか。

- ア. 1992年（平成4年）の「国連環境開発会議（UNCED）」（地球サミット）以降、国際的に「持続可能な森林経営」実現に向けた取組が推進されている。
- イ. 2001年（平成13年）以降は「国連森林フォーラム（UNFF）」において、各国政府、国際機関、NGOの代表者により、森林問題の解決策についての議論が行われている。
- ウ. 熱帯木材生産国による「国際熱帯木材機関（IPF）」とは、国際熱帯木材協定に基づいて1985年（昭和60年）に設立された国際機関である。
- エ. 2011年（平成23年）は国連総会決議に基づく「国際森林年」として、世界の森林の持続可能な経営保全・利用に対する認識を高めることを目的として定められた。

	ア	イ	ウ	エ
1.	正	正	正	誤
2.	正	正	誤	正
3.	正	誤	正	誤
4.	誤	正	誤	正
5.	誤	誤	正	誤

【正答2】

林業B

〔例題2〕 森林の生態系に関するア～ウの記述の正誤の組合せとして妥当なのはどれか。

- ア. 発達した森林では、高木層・亜高木層・低木層・草本層と、樹木の樹冠や植物の葉が高さ方向に階層的に分布している。これを森林の階層構造という。
- イ. 森林生態系では、ほかの生態系に比べて物質生産がほとんどなく、有機物の蓄積量はごく少量である。
- ウ. 森林生態系は、ある程度のかく乱に対しては復元性があり、小規模なかく乱であれば比較的短期間に元の状態に近い森林に再生する。一般に、多様な樹種からなる森林は復元性が大きく、単純な樹種構成の人工林は復元性が小さい。

	ア	イ	ウ
1.	正	正	誤
2.	正	誤	正
3.	正	誤	誤
4.	誤	正	正
5.	誤	誤	正

【正答2】

林業B

〔例題3〕 角測量に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 水平面において、任意の基準方向から右回りに測った角度を方位角という。
2. セオドライトの望遠鏡は対物レンズ、接眼レンズ、鏡筒、十字線の部分からなっている。十字線はスタジア線ともよばれ、視準線の決定のほか、スタジア測量に用いられる。
3. 水平角を測定する場合、セオドライトが構造上そなえていなければならない条件は、上盤気ほう管軸と鉛直軸が直交していること、視準軸が水平軸に直交していることの2点である。
4. 方向法は、単独の角を2回以上繰り返して観測し、その平均値を求める方法である。
5. セオドライトの回転軸と目盛盤の中心が一致しないことにより生じる誤差は、正・反観測の平均をとることにより消去する。

【正答5】

林業B

〔例題4〕 集成材の製造方法に関する次の文章の空欄ア～ウに該当する語の組合せとして妥当なのはどれか。

ひき板の長手方向に接合して、所定の長さにする方法には、各種の形式がある。これらのうち〔ア〕は、最も簡単で経済的な方法でもある。しかし、強度的には継手有効率が最も小さく、またハンドリングが困難であるため実際にはほとんど用いられない。加工精度のよい〔イ〕は、最も継手有効率が高く、素材の95%以上も期待できる。しかし、歩留まりは悪く、接着に時間を要するため生産効率が悪い。〔ウ〕は、生産効率が良く、現在ではほとんどの場合で用いられている。

ア	イ	ウ
1. バットジョイント	スカーフジョイント	フィンガージョイント
2. バットジョイント	スカーフジョイント	エッジジョイント
3. バットジョイント	フィンガージョイント	エッジジョイント
4. エンドジョイント	フィンガージョイント	スカーフジョイント
5. エンドジョイント	エッジジョイント	フィンガージョイント

【正答1】